

公益財団法人 日本陸上競技連盟 御中

東京大学大学院 工学系研究科
池上 孝則

平成 27 年 5 月 2 日付の回答を踏まえての質問状

前略

当方が平成 27 年 5 月 7 日に受理いたしました平成 27 年 5 月 2 日付の公益財団法人 日本陸上競技連盟(以下「陸連」という。)の回答において、「事務局長名義の文書は陸連としての公式な見解」であることが確認できましたので、改めて以下の 3 つの質問をさせていただきます。

●公開質問状に対する回答に関する質問

まず、当方が平成 27 年 3 月 18 日に送付いたしました「北京世界陸上競技選手権大会の代表選考に係る公開質問状(以下「公開質問状」という。)」に関する質問をさせていただきます。

【質問1】:平成 27 年 4 月 14 日付文書の位置づけに関する質問

陸連の平成 27 年 4 月 14 日付の文書は、当該公開質問状の回答として「A:十分である」とお考えでしょうか。それとも「B:不十分である」とお考えでしょうか。

●マラソン代表選手選考要項に関する質問

次に、陸連の平成 27 年 4 月 14 日付の文書には「代表選考要項に従い厳正に代表選手を選考しています」との記載がありますので、「第 15 回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)マラソン代表選手選考要項」(以下「選考要項」という。)について 2 つの質問をさせていただきます。

【質問2】:「本大会での活躍が期待される競技者」の評価基準に関する質問

選考要項中の[3. 選考基準]⇒[(2)選考条件]⇒[2]本大会での活躍が期待される競技者]において、当該競技者の評価基準は「A:科学的な基準」でしょうか、それとも「B:非科学的な基準」でしょうか。ここに、評価基準として少しでも非科学的な要素が介入している場合には「B:非科学的な基準」を選択して下さい。

なお、「科学性の有無」は「再現性」、「普遍性」、「定量性」、「整合性」を念頭にご判断下さい。

【質問3】:「本大会での活躍が期待される競技者」の選考方法に関する質問

選考要項中の[4. 選考方法]⇒[(2)選考基準(2)による選考]において、当該当該競技者は「A:民主的手続きに基づいて選考された」のでしょうか。それとも「B:非民主的手続きに基づいて選考された」のでしょうか。この質問に関しましても「評価基準に関する質問」の場合と同様、選考の過程で少しでも非民主的な要素が介入していた場合には「B:非民主的手続きに基づいて選考された」を選択して下さい。

なお、「民主的手続きであるか否か」は、「必要なプロセス」を経て「十分な議論」が尽くされ、意見が分かれたときは最終的に「多数決を取る」といった手続きを踏んだか否か等を念頭にご判断下さい。

上記の 3 つの質問は全く余事象の存在しない単純な二者択一の質問ですので、平成 27 年 5 月中での回答をお願い申し上げます。

草々